

令和 6 年 8 月定例会 提案説明要旨

（はじめに）

関西広域連合議会令和 6 年 8 月定例会の開会に当たり、議員の皆様に敬意と感謝を申し上げます。

8 月 8 日の日向灘を震源とする地震の発生を受け、「南海トラフ地震臨時情報（巨大地震注意）」が、平成 29 年の制度運用開始以来、初めて発表されました。

関西広域連合では、対策準備室を設置するとともに、翌 9 日には構成府県市民あてにメッセージを発出し、地震・津波への備えの再確認を呼びかけました。幸い、その後、更に大きな地震が発生することなく 1 週間が経過し、臨時情報は終了となりましたが、近い将来に南海トラフ地震の発生が予想される状況に変わりはありません。

国の南海トラフ地震の被害想定の見直しを踏まえながら、能登半島地震の被災地支援を通じて得られた教訓、課題、気づきなどを収集・共有した上で、関西防災・減災プランを改訂し、大規模広域災害への対策を推進していきます。

さて、連日、熱戦が繰り広げられた夏季オリンピック・パリ大会が、先日閉会しました。我が国の選手が日頃の鍛錬の成果を発揮し、好成績を残されたことは大変喜ばしく、関西ご出身の選手も大いに活躍されました。京都府出身のフェンシング・飯村一輝（いいむら・かずき）さん、大阪府出身のレスリング・樋口黎（ひぐち・れい）さん、兵庫県出身の柔道・阿部一二三（あべ・ひふみ）さんが金メダリストに名を連ね、ひととき大きな感動を私たちに与えてくれました。

来週 28 日からはパラリンピックが始まります。その前哨戦として神戸で開催された世界パラ陸上競技選手権大会では、私も会場に足を運びましたが、多くの方々、特にこどもたちが世界のトップアスリートの熱戦を間近で観戦し、スポーツの持つ力に勇気をもらうとともに、共生社会を体感してもらう良い機会となりました。

オリンピックとパラリンピックにより、世界の注目がパリに集まっていますが、いよいよ来年は、大阪・関西万博です。関西広域連合が出展する関西パビリオンは、関西の生活、歴史、文化、産業、観光等の魅力を国内外の人々に伝え、関西各地への来訪を促すゲートウェイとなることを目指します。万博を契機に関西の強みに磨きをかけ、一層魅力ある関西を目指した取組を進めてまいりますので、議員各位におかれましては、引き続き御指導、御協力をよろしくお願い申し上げます。

それでは、提案理由の説明に先立ち、6 月臨時会以降の主な取組について御報告します。

(2025年大阪・関西万博)

第1は、2025年大阪・関西万博に関する取組です。

関西パビリオンについては、先月、外部の膜張り作業が完了し、今月からは、内部展示エリアの間仕切り壁の設置に取りかかりました。秋頃には建物本体工事の竣工を予定しており、開幕に向けた準備が着実に進んでいることをご報告申し上げます。

開幕は、いよいよ234日後となりました。一層の機運盛り上げを図るため、連合委員会でも、各府県の展示やイベント情報を積極的に取り上げ、情報発信に努めてまいります。

さて、万博会場工事現場でのメタンガス爆発事故が報じられたことから、関西広域連合委員会でもこの件を取り上げました。万博への教育旅行に対する不安解消が必要であるとの委員からの意見を踏まえ、安全・安心で充実した教育旅行を実施できるよう、博覧会協会に対して緊急の申入れを行ったところです。

来場者が心から万博を楽しんでもらえるよう、今後も万博における安全対策の徹底に取り組んでまいります。

(広域観光・文化の振興)

第2は、広域観光・文化の振興です。

令和5年7月、文化庁や関西経済連合会等と、官民一体となった文化芸術分野の取組を進める共同宣言を行いました。これに基づく文化庁の音楽とアートの融合による取組として、現在、大阪で「MUSIC LOVES ART2024（にいぜろにいよん）」が開催されており、「SUMMER SONIC 2024（にいぜろにいよん）」とのコラボレーションによる大型アート展示には、先週、私も参加させて頂きましたが、世界に誇れるクリエイティブ地域圏を、関西から生み出す可能性を感じました。

大阪・関西万博に向けた取組として、伝統芸能やアート、子ども向け文化体験、関西各地への周遊イベントや博覧会協会と連携した万博PRなどを行う文化発信イベント「KANSAI感祭」の開催準備を進めています。先月実施した関西経済連合会等とのメディア向けキックオフセッションを皮切りに、今月下旬から、関西各地でイベントを順次開催し、関西の文化力の向上や地域の活性化、万博に向けた機運醸成に取り組んでまいります。

また、令和5年11月に実施したタイ王国での海外プロモーションを契機に、8月2日、タイ国政府観光庁と観光交流の促進に関する趣意書を締結しました。今後は、タイ・関西広域連合両者において、双方が実施する観光プロモーションへの相互協力、持続性の高い観光の推進に資する取組や

ノウハウ等の情報共有など、協力関係の構築に努めてまいります。

（広域産業の推進）

第3は、広域産業の推進です。

本年3月に改訂した関西広域産業ビジョンの実効性を高めるための行動計画として、大阪・関西万博前後の3か年の「アクションプラン」を7月に策定しました。

ビジョンに掲げる将来像の実現に向け、ライフサイエンスやカーボンニュートラルなど、関西が強みをもつ分野の産業化推進をはじめ、中小企業の成長や多様な人材の活躍など、具体的な取組を進めてまいります。

（広域環境の推進）

第4は、交流型環境学習の実施です。

7月20日に、関西1,450万人の暮らしを支える「琵琶湖」をフィールドとして、滋賀県保有の学習船「うみのこ」を活用した親子体験航海を、59組118名の参加を得て実施しました。明後日の8月24日には、今年度二回目の航海を予定しており、60組120名の参加を見込んでいます。大変人気の高い事業で、今年度も定員120組に対し、500組の応募をいただいたところです。

また、9月14日と11月23日には「自然体験教室」を初めて京都府で実施する予定です。アベサンショウウオの保護活動地域や山陰海岸ジオパークなどを、現地で活動する環境保全団体の案内で巡り、貴重な生き物や特徴的な地形などを見て、聴いて、感じて、学び楽しんでいただこうと考えております。

関西が有する豊かな自然、歴史、文化など、地域特性を活かした交流型環境学習の取組を通じ、環境先進地域「関西」を担う人材の育成に努めてまいります。

（広域インフラの整備促進）

第5は、広域インフラの整備促進です。

北陸新幹線は、関西に大きな経済効果をもたらすとともに、大規模災害発生時におけるリダンダンシーの確保に寄与するなど、国土の強靱化にも必要不可欠なインフラです。

敦賀・大阪間の令和7年度着工を目指す上で、国の今夏の来年度予算概算要求及び年末の予算編成が極めて重要となります。このため、7月25日に、北陸新幹線建設促進同盟会と共に、政府与党及び関係省庁に対して、概算要求への計上を強く要請したところです。

8月7日に開催された与党整備新幹線建設推進プロジェクトチーム整備委員会においては、敦賀・新大阪間の駅位置やルート案などが示されたところであり、北陸新幹線の全線開業に向け、一步前進したと考えています。

また、9月17日には大阪で、関西経済連合会等と共にシンポジウムを開催する予定です。北陸新幹線の全線開業がもたらす効果を広く関西の皆様にご知っていただき、関西一丸となって機運を盛り上げていきます。11月には、東京において、建設促進大会及び中央要請を関西主催で実施し、関係自治体や経済団体等と一致団結して、国に働きかけていきます。

今後とも、一日も早い全線開業を目指し、関西の沿線自治体と一層の連携を図りながら、整備を促進する取組を展開してまいります。

（様式・基準の統一の推進）

第6は、様式・基準の統一の推進です。

「ビジネスしやすい関西」に向け、地域における行政目的の達成と様々な事業者の利便性の向上の両立を目指し、令和4年度から「広域的な様式・基準の統一」に取り組んでおります。

このたび「道路占用許可申請書様式の共通化」について、構成団体の合意が得られたため、9月1日から共通様式の運用を開始します。

（提出議案の説明）

これより、提出した議案について説明します。

第11号議案は、「令和5年度関西広域連合一般会計歳入歳出決算認定の件」です。令和5年度決算は、歳入35億4,075万9千円余、歳出34億7,203万円余で、歳入歳出差引残額は、6,872万8千円余です。

この決算について、先に監査委員の審査に付しましたところ、決算審査意見書の提出がありましたので、これを付して、関西広域連合議会に報告するものです。

第12号議案は、「令和6年度関西広域連合一般会計補正予算（第1号）の件」です。歳入歳出それぞれ3,692万7千円を追加し、歳入歳出予算の総額を46億7,760万6千円とします。このたびの補正予算は、令和5年度決算剰余金の処理及び令和5年度ドクターヘリ事業に係る国庫補助金の一部返還に伴うものです。

（おわりに）

以上で提出議案の説明といたします。議員の皆様におかれましては、よろしく御審議をお願いします。